遠藤笹窪谷保全管理作業(2021.10.27)について

作業日時：2021.10.27(水)　09：35～12：00

作業者：岸しげみ、岸　一弘

１．作業箇所・作業内容等

１）「ヤブムグラ」保護エリア

　このエリアには、「環境省レッドリスト2018」及び「神奈川県レッドリスト2020」(県RDB2020)で絶滅危惧II類に位置付けられているヤブムグラを始め、「県RDB2020」で準絶滅危惧に位置付けられているキンラン、生育地の限定されるヒトリシズカ、ノダケ、ササバギンラン、ササクサなど希少性のある植物が生育している。

　これらの植物にとってより好適な環境となるよう、イヌワラビ、ケチヂミザサ、アズマネザサ、ナガバジャノヒゲ、ヤブラン、アケビなどの草本類を、鎌を使用して選択的に刈り取った。保護エリア内に生育していた木本類のカマツカ、マルバウツギは残したが、ムラサキシキブ、マユミは剪定鋏で刈り取った。

　草刈り機を使用せず、鎌などを使用したのは以下の理由による。

①草刈り機を使用すると誤って希少種を刈ってしまう危険があるが、鎌などを使用することで希少種を保護しながら抑制の必要な他の植物だけを刈り取ることができる。

　たとえば、地表近くに葉のあるヒトリシズカ、90㎝ほどに成長して結実しているノダケいずれも刈り取ってしまう危険性を回避できる。

②地際から刈らないことで、乾燥化を防ぎ、外来種が侵入しにくくする効果もある。

③昆虫類の生息環境の維持

　作業中にアズマネザサの葉裏でヒカゲチョウの幼虫が確認されたので、幼虫が見つかった場所のアズマネザサは刈り残した。また、ケチヂミザサはヒメウラナミジャノメの幼虫の食草となるので、適宜刈り残した。

２）横断道北側の草刈り

　ヨシなどの高茎草本類を鎌、ヘッジトリマーを使用して刈り取った。

　作業中オニスゲが確認できたので、刈り残した。

　2020年まで確認されていたヒメミズワラビは、確認することができなかった。

２．当日確認できた他の生物

１）「ヤブムグラ」保護エリア北側林縁

・植物：ノガリヤス(出穂)、ヤマコウバシ、メギ

２）横断道周辺

・植物：ツルフジバカマ(刈り取り後に新芽が出ていた)

・昆虫類：アキアカネ

３）横断道北側湿地

・昆虫類：コバネイナゴ、キンヒバリ(幼虫)